

生駒市商工観光ビジョン策定方針

1. 策定の目的

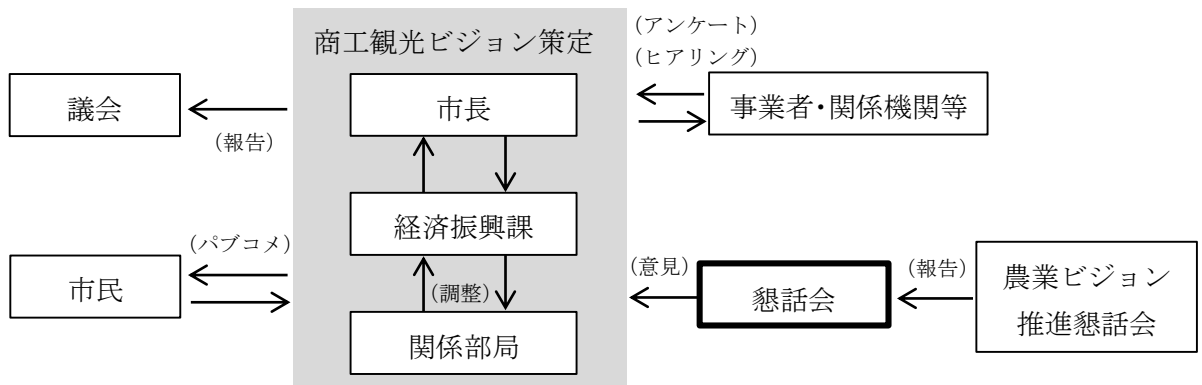
生駒市では、「第5次生駒市総合計画（後期基本計画）」（平成26年度～平成30年度）のまちづくりの目標の一つに「5 地域の資源と知恵を活かし、にぎわいと活力のあるまち」が位置付けられている。

この実現に向けて、商工業と農業の一部（以下、「商工業」という）及び観光の観点から、生駒市全体の産業振興の方向性を示す必要があることから、本ビジョンを策定するものである。

2. 計画期間

	(年度)						
	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34
商工観光 ビジョン		▶					
総合計画	▶ (第5次)			▶ (第6次)			

3. 策定体制

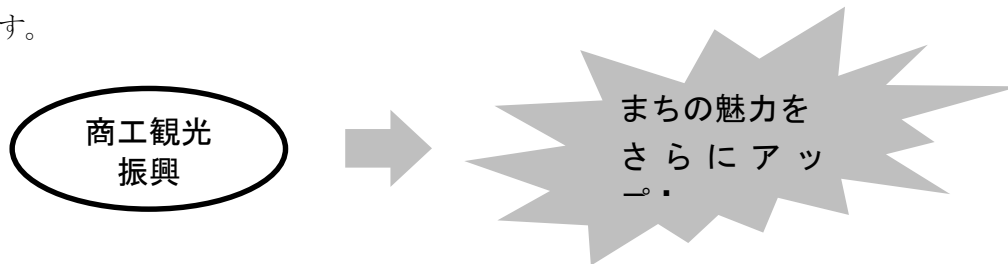


4. 生駒市商工観光振興に関する基本的考え方

【基本的考え方】

商工観光の振興に取り組む意義は、市内事業所が安心して操業でき、働きやすい環境を整えることにより、雇用機会の確保や税収増の効果への期待などがあります。

生駒市における商工観光振興は、さらに次のような視点もあります。すなわち、全国 64 位（関西 10 位）という住みよさランキング（東洋経済新報社 2016 年版）にあるように、「住んでよし」のまちの魅力を「活発な商工観光」がさらに後押しすることです。生駒市民のライフスタイルを豊かにする製品を作り出し、ニーズに応じた的確なサービスを提供する事業所が増えることによって、これまで以上に住みよい生駒が実現されることを目指します。



また、行政がすべての支援策を用意するのではなく、国や県、商工会議所、大学、金融機関等支援機関の力を最大限活用することを基本にして活性化に取り組んでいきます。

【生駒市の将来像を支える商工観光】

